

令和5年度（2023年度）第2回  
北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会 議事概要

日 時：令和6年（2024年）3月19日（火）10：00～11：30

場 所：かでる2. 7 8階 810A会議室

出席者：別添「出席者名簿」のとおり

次 第：別添「次第」のとおり

議 題：議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

議題2 令和6年度事業計画（案）について

議題3 地域活動支援事業 令和6年度（2023年度）活動計画について

議題4 その他

議 事：

(1) 議題1 第4期事業実施計画（令和2年度～令和6年度）について

ア 事務局から資料3に基づき説明するとともに、「4 事業評価と対応」の「外部有識者の所見」欄について事務局案の確認・修正を依頼。

イ 質疑応答 (有・無)

山本座長) 地域活動支援事業の所見について、「新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動できていない～」となっているが、「…計画どおりに活動できていなかった～」と修正。

事務局) 了解。

小西委員) 地域活動支援地区が増えていないことの分析はしているのか？

事務局) 話が出るたびに現地に赴いたり、相談に乗っているところだが、なかなかふる水事業を選択してくれていない状況である。過去に相談のあった沼田町だが、町の単独事業で活動を行っているようである。なぜかというと、ふる水事業は仕組み的に、何かをしたいと言ったときに、振興局の担当を通して発注の手続きを取ってと、いくつかの手続きを経る必要があり、すぐには対応できずに、即応性に劣るのではないかと考える。

また、ふる水事業の知名度不足なのか、ここ数年は普及センターなどからの推薦もないような状況なので、もう一度掘り起こしを行いたいと考えている。

栗山町の菅野指導員の活動状況について、来年度ふる水事業で何かできないかと考えているが、小西委員、どのような状況か情報提供願いたい。

小西委員) 今年度に引き続き、食育に関する活動を考えているようだ。

事務局) 来年度、菅野指導員に声をかける際には協力願いたい。

掘り起こしについては、引き続き事業の説明と、過去の事例でどのようなことが出来る、どんな成功例があるといったことをアピールしていきたい。

中山委員) 過去に行った地区がもう一度行うことは出来るのか。

事務局) 同じメニューで行うのはだめだが、形が変わっていれば可能である。  
山本座長) いくつかの過去の事例、写真とどのくらい金額がかかったか、いつ、何年間やったかだけでもいいので、そういったパンフレットを情報誌を配る先に送ってもいいのでは。

事務局) 昨年、厚沢部に行った際に話を伺った団体が、まさにふる水事業に合致するような活動を行っているので、そちらに対しても声かけを考えているところである。

山本座長) 指導員に対して、身の回りで地域活動につながりそうな事例を挙げてもらい、そこから振興局が伺うということも考えては。  
研修会や、指導員会に参加していない指導員もいるので、そういう者にも活動に参加してもらおうという意味で、挙げてもらおうのも一つの手では。

## (2) 議題2 令和6年度事業計画(案)について

ア 事務局から資料4に基づき説明。

イ 質疑応答 (有・)

## (3) 議題3 地域活動支援事業 令和6年度(2024年度)活動計画について

ア 事務局から資料5に基づき説明。

イ 質疑応答 (・無)

### 【オホーツク広域地区】

小西委員) なぜ、R6の活動は体験部会のみで行うのか。

事務局) 教育旅行部会については、教育旅行を受け入れるための物品を揃えたり、教育旅行モニターツアーを行うなど、当初の予定はある程度達成することが出来たことから、次は実施に向けた活動に移るためにお金をかけた活動はしないが、この事業自体は連携して行っていくこととなっている。体験部会については、まだやりたいことが残っているため活動の延長が決まった。

山本座長) R5の①広域連携について、予算額が0になっているが、やらなかったのか、お金がなかったのか。

事務局) お互いに行き来してやる予定だったが、それは出来なく、報告会の中で情報共有を行っている。

大熊委員) R6の体験部会の活動でふる水事業としてはすべてが終わる予定だが、その後もきちんと連携して、各地域に温度差はあるものの活動を続けていくと言うことでよろしいか。

事務局) そのとおりである。

### 【本別地区】

山本座長) R4にアート活用検討会というメニューがあったが、それにつながるよ

うな活動はなかったのか

事務局) R5 に写真を使用したモザイクアートという活動を行っている。R6 についても同様のイベントを開催予定である。

大熊委員) 当初から活動に対する熱量がすごく感じられる地区だったが、それは今も変わっていないか。

事務局) 今も変わっていない。

#### 【財田地区】

山本座長) 田植え体験は0円だが、やらないのか、お金をかけずにやるのか。

事務局) お金をかけずにやるとのこと。

小西委員) この地区の活動に対し、農家ごとの温度差が感じられるので、みんなが積極的に活動に参加して欲しい。

事務局) 来年度は、財田米を使用した地元飲食店及び直売所PRのための紹介MAPの作成やのぼりを作る予定なので、期待している。

小西委員) この地区は洞爺地区と虻田地区の2つの地区が合併した地区であり、洞爺地区での財田米の知名度についてはある程度あるが、虻田地区についてはあまりないため、今年度行われた、講習会にも虻田地区の方を優先的に集めていた。そのため、R6の食育についても、虻田地区への知名度向上が含まれているのはいい活動と思われる。

#### (4) その他

ア 事務局から説明。

イ 質疑応答 (有・)

事務局) JRの特急料金についてネットでの手配が基本となり、旅行の際には、領収書が必要となるのでご注意願いたい。

